

認定調査とつきクン通信（第6号）

2-3・4（特記内容）

手指のふるえがあつてこぼすことが多く食べこぼしの後片付けをし、むせ込むことが多いため家族が近くで見守りしている。 *見守り等*

あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見てください。

確認事項 「2-4」（専門調査員からの確認内容）

食事ですが、食べこぼしの掃除等は含まれません。他に食事摂取に対して何か見守りをしていることが、あるのでしょうか。なければ「介助されていない」となります。

回答（調査員から）

自分で食べているが、皿の置き換えや後片付けを行っている。 *変更なし*

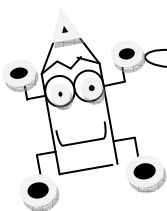
注意点

配膳後の食器から口に入れるまでの行為に対して、「確認」「指示」「声かけ」「皿の置き換え」等を食事中に常時付き添い、介助ではなく見守りをしている場合。

なぜ見守りが必要なのか、何のために見守りしているのか理由を特記に記載してください。

記載例 「2-3・4」

自分で食べているが、手指のふるえがありこぼすため皿の位置を変え食べやすくするが、こぼすことが多く後片付けを行う。飲み込みも悪く毎回むせる為常に家族が見守りをしている。 *見守り等*



えん下と食事摂取の定義の再確認を・・・

えん下・・・**飲み込む「能力」**

食事摂取・・・**食物を口に入れるまでの行為「介助の方法」**



介護保険課認定係
平成31年2月1日

認定調査とつきクン通信 (H30第11号)

(H30年度は、「介護の手間の量」を把握できる特記について発行いたします)

ケシ子ちゃんの調査

2-4 食事摂取「自立」

特記①右手の震えがあるが、自分で食べている。

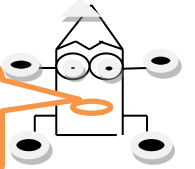


そう聞いたわ。右手に麻痺があって手が震えてしまうけど、自分で食べられるって言ってたから「自立」でいいのよね。

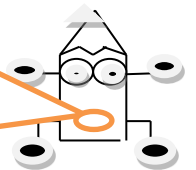


あーそうだった。聞き取った事がきちんと特記に書いていなかったわ。もう一度書き直してみます。

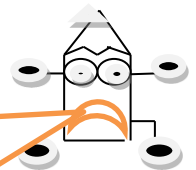
今年度は、認定審査会委員の立場で特記を考えてみる



初めから最後まで自分で食べているのかな。全く介助されてない？



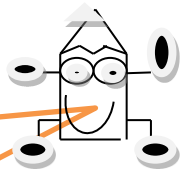
介助されていないのはわかったけど、側で声がけや確認等の「見守り」もしていないのかどうか聞いたかな。



「自立」

特記②右手の震えはあるが、スプーン等を使用し、問題なく自己摂取できている。特に側について声がけ等は行っていない。

この場合は「自立」の判断だけど、食事摂取は個人差が発生しやすい項目だから審査会の判定でも特記事項によって介護の手間がより多いか少ないかを議論するんだよ。例えば、同じ「一部介助」でも「ほとんど介助が行われない一部介助」と「全介助に限りなく近い一部介助」があるよね。だから特記がとっても大事なんだよ。



調査員の皆様寒い日が続きますが、お身体には十分気を付けてくださいね。





認定調査とつきクン通信（R1第6号）

（R1年度は、「選択肢の選択根拠」がきちんと書かれている特記について発行いたします）

ケシ子ちゃんの調査

2-4 食事摂取「介助されていない」

特記① スプーンを使って自分で食べていることが多いため、「介助されていない」とした。

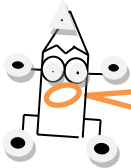


特記の内容からすると、「見守り」とか「介助」とかをすることがあるように思えるけど……。よく分からないな。多分、頻度からすると「介助されていない」ってことは分かるよ。でも、選択根拠がはっきりしていないよね。

職員から聞いたのは、ほとんど自分で食べるけど週2～3回位手が止まり介助することがあるって、聞いたよ。



その内容が、選択肢の根拠になるよね。



簡単にまとめて書いちゃった。状況を具体的に書き直しますね。



「介助されていない」

特記② スプーン等を使って自分で食べているが、体調になみがあり週2～3回位自分で数口食べて手の動きが止まり食べないことがある。その際は職員が30分程かけて食べさせている。頻回な状況から「介助されていない」と判断した。

食事摂取の、介助にかかる時間には個人差も発生しやすいことから、認定審査会の判定において、重要な意味を持つ場合があるよ。今回の場合は、選択肢は「介助されていない」だけど、週に2～3回は職員が介助している。一日三食自分で食べている場合とでは、介助の手間は違うよね。だから、丁寧な特記が求められるんだよ。

